一、未納ノ保證金ハ即時保證ノ納入ヲ求メ調停委員会ニ一任下シ
保管金額千五百余円ヲ保管ニ納入ス
二、五友撤回セハ保業部規約ニ依リ除名ノ上ハ即時撤回
スルコト
即時撤回セサル者ハ除名ス
三、右田保業部ノ所據ヲ以テ見ルモ責任者自決ス
五友保業部執行部ノ積極スルモノハ保業部又ハ協会内部ヲ擬
ヲ自決セシメタモノ會社ニ解散方勧誘スルモ從來上出来難キ
ハヲ會社ノ精算ニ當ラス
四、保業部ハ商船會社ノ一般保證金所謂文ヲ出サス
如此書状ヲ提出セス
五、商船五友保業部解散ノ件
即時解散スル事ハ困難ナルヲ以テ之ヲ解散スルコトハ暫ク保留スルコト

ハ内部的ニ干係シ外ニハ協定セシモノナリ　以上

（別紙）　声明書

商船五友保業部ハ日本海員組合創立以来アラユル難局ニ對シテ其ノ難関ヲ突破シツヽ克ク其ノ存在ヲ支持シ今日ノ海上ニ於ケル某々協調関係ヲ達成シ来ッタ。保業部ハ其ノ歴史的光榮ヲ深ク意識シ現下ノ不況時ニ際会シ會員一層団結ノ必要ヲ痛感スルモノデアル。然ルニ最近保業部ノ間ニ海員十月号ニ記載ノ海事協同会雑誌ノ寄稿欄ニ記事ニ関スル組織ノ乱レル端ヲ発スル保業内部ノ関係ニ憂フベキ事態ヲ惹起シ内部ノ事ハ保業部ニ於テ解決スル根内部ノ関係ニ憂ニ耐ヘナイ言辞ヲ弄シ以テ保業部ヲ顧慮スル保業生レル危機ニ際シ此ノ遺憾ノ極ミデアルト同時ニ今後保業部創立当時ノ趣旨ニ於テ独力保業部ヲ支持シ遂ニ保業部ヲ維持シツヽ寛容